



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 HYUGA PRIMARY CARE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7133 URL <https://www.hyuga-primary.care>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒木 哲史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 大西 智明 TEL 092-558-2120
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,287	27.1	277	162.9	263	173.3	176	176.9
2026年3月期第1四半期	2,585	15.4	105	△27.3	96	△31.8	63	△32.6

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 176百万円(176.9%) 2026年3月期第1四半期 63百万円(△32.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	24.82	24.18
2026年3月期第1四半期	8.96	8.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	8,669	2,765	31.9
2026年3月期	8,290	2,731	32.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 2,765百万円 2026年3月期 2,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,301	13.9	332	47.3	303	47.3	286	110.3	40.17
通期	13,102	9.3	904	10.7	843	8.7	631	25.8	88.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	7,279,000株	2026年3月期	7,279,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	147,128株	2026年3月期	147,128株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	7,131,872株	2026年3月期1Q	7,130,072株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 4 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループの属する医療・介護業界においては、2026年6月(薬価等の改定は2026年4月)に調剤報酬改定が行われ、団塊の世代が後期高齢者になる超高齢社会に対応した本格的な在宅医療介護時代が始まっていると言えます。

当社グループは、企業理念である「患者さん(利用者さん)が24時間365日、自宅で『安心』して療養できる社会インフラを創る」を実現するため、医療依存度が高く、要介護度も高い在宅患者様に対応した高齢者施設の運営、在宅訪問薬局事業及びきらりプライム事業の着実な拡大を図り、「プライマリケアのプラットフォーム企業」という目標に向けて尽力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,287百万円(前年同期比27.1%増)となり、利益面では営業利益が277百万円(前年同期比162.9%増)、経常利益が263百万円(前年同期比173.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が176百万円(前年同期比176.9%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(在宅訪問薬局事業)

在宅訪問薬局事業では、東京都府中市にきらり薬局府中店、東京都世田谷区にきらり薬局世田谷千歳台店、福岡県那珂川市に事業譲受によりメルシー調剤薬局を出店しました。また、店舗ドミナントの見直しのため、福岡市西区のきらり薬局今宿店を事業譲渡しており、合計で65店舗となりました。在宅患者数も当第1四半期連結会計期間末時点において13,282人(前年同期比28.9%増)と好調に推移しております。

以上の結果、売上高は2,298百万円(前年同期比24.5%増)、セグメント利益は179百万円(前年同期比13.7%増)となりました。

(きらりプライム事業)

きらりプライム事業は、中小規模の薬局と提携し、効率的な在宅薬局の運営ノウハウの提供、人材研修、24時間対応のためのオンコール体制の支援、在宅薬局特化型の在宅訪問支援情報システム(ファミケア)の貸与及び医薬品購入支援などのサービスを行っております。

当第1四半期連結累計期間では、薬剤師コンサルタントを採用育成することによりコンサルティングサービスを拡充しております。薬局の調剤報酬改定に伴うニーズに応えるため、積極的にセミナー等を開催しており、当第1四半期連結会計期間末時点で加盟法人数は964社(前年同期は860社)、加盟店舗数は3,023店舗(前年同期は2,650店舗)と好調に推移しております。

以上の結果、売上高は310百万円(前年同期比19.6%増)、セグメント利益は182百万円(前年同期比37.8%増)となりました。

(プライマリケアホーム事業)

プライマリケアホーム事業では、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスを行う住宅型有料老人ホームを運営しております。当事業の特徴は在宅訪問薬局事業で培った在宅医療ノウハウとネットワークを活かし、要介護度が高く、医療依存度が高い在宅患者に対応できる施設であることです。

当第1四半期連結累計期間では、稼働率、入居率単価ともに課題となっていた「プライマリケアホームひゅうが熊本はません」が、徐々に好転しております。他3施設は入居率も安定的ではあるものの、さらに高い入居率を維持できるよう営業体制を強化しております。

以上の結果、売上高は678百万円(前年同期比41.2%増)、セグメント利益は69百万円(前年同期はセグメント損失25百万円)となりました。

(その他事業)

当社グループのその他事業は、ICT事業を含めております。

ICT事業では、入居者の健康状態を自動的に把握するウェアラブルウォッチ以外にも、入居者の離床、座位、臥床を検知するベッドセンサーを開発し、当社グループの介護施設での実装実験を進めながら本格的な販売に向け準備しております。このベッドセンサーは、介護保険適用となるTAISコード及び貸与マークを取得しており、「福祉用具貸与商品」として取り扱うことが可能となり、当社グループの施設で貸与を開始し、プライマリケアホーム事業の福祉用具貸与サービスとして収益を上げております。

以上の結果、売上高は0百万円（前年同期比40.2%減）、セグメント損失は7百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ340百万円増加いたしました。これは主に売掛金が41百万円、現金及び預金が219百万円増加したことによるものであります。

固定資産は4,464百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が34百万円増加したことによるものであります。

その結果、総資産は8,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ378百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円増加いたしました。これは主に買掛金が235百万円増加したことによるものであります。

固定負債は3,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

その結果、負債合計は5,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により176百万円増加したものの、配当金の支払いにより142百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月14日の「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。なお、当該連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,021,619	1,241,516
売掛金	2,471,322	2,513,262
商品	142,498	214,520
その他	228,677	235,277
流動資産合計	3,864,117	4,204,576
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,594,059	2,576,142
その他（純額）	1,030,529	1,082,544
有形固定資産合計	3,624,589	3,658,686
無形固定資産	338,241	336,114
投資その他の資産	463,147	469,631
固定資産合計	4,425,978	4,464,432
資産合計	8,290,096	8,669,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	939,568	1,175,335
短期借入金	350,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	243,638	341,136
未払法人税等	233,450	105,765
賞与引当金	130,467	185,520
その他	718,056	798,168
流動負債合計	2,615,181	2,805,925
固定負債		
長期借入金	2,176,292	2,316,832
資産除去債務	104,869	106,957
その他	662,207	673,406
固定負債合計	2,943,368	3,097,196
負債合計	5,558,550	5,903,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,457	200,457
資本剰余金	350,467	350,467
利益剰余金	2,480,640	2,514,982
自己株式	△300,018	△300,018
株主資本合計	2,731,546	2,765,887
純資産合計	2,731,546	2,765,887
負債純資産合計	8,290,096	8,669,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,585,935	3,287,310
売上原価	2,108,829	2,670,639
売上総利益	477,106	616,670
販売費及び一般管理費	371,577	339,286
営業利益	105,528	277,384
営業外収益		
受取利息	844	—
補助金収入	1,370	—
受取保険料	—	30
その他	561	170
営業外収益合計	2,776	200
営業外費用		
支払利息	11,658	13,885
その他	154	21
営業外費用合計	11,812	13,907
経常利益	96,493	263,678
特別利益		
事業譲渡益	—	3,556
特別利益合計	—	3,556
特別損失		
減損損失	842	—
特別損失合計	842	—
税金等調整前四半期純利益	95,650	267,234
法人税等	31,741	90,255
四半期純利益	63,909	176,979
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,909	176,979

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	63,909	176,979
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	63,909	176,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,909	176,979
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	78,781千円	87,978千円
のれんの償却額	2,306	3,207

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 事業 (注3)	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	在宅訪問 薬局事業	きらり プライム 事業	プライマリ ケアホーム 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,845,624	259,477	480,646	2,585,748	186	2,585,935	—	2,585,935
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,845,624	259,477	480,646	2,585,748	186	2,585,935	—	2,585,935
セグメント利益 又は損失(△)	158,105	132,775	△25,963	264,917	△9,159	255,758	△150,229	105,528

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICT事業であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 事業 (注3)	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	在宅訪問 薬局事業	きらり プライム 事業	プライマリ ケアホーム 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,298,441	310,277	678,480	3,287,198	111	3,287,310	—	3,287,310
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,298,441	310,277	678,480	3,287,198	111	3,287,310	—	3,287,310
セグメント利益 又は損失(△)	179,687	182,981	69,321	431,990	△7,226	424,763	△147,379	277,384

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ICT事業であります。